



平成24年度 視覚障害者社会教育指導者研修会〔南丹会場〕

開催しました!

ねらい

- ・障害のある人の心豊かな生活に向けての学習活動や社会参加の促進
- ・障害及び障害のある人についての正しい理解と認識を深めるための学習機会を提供するために必要な指導者としての資質の向上

平成24年9月28日(金)南丹市日吉町生涯学習センター(遊 you ひよし)において「視覚障害者社会教育指導者研修会(南丹会場)」を開催しました。

この研修会は、毎年、京都府教育委員会(主管:京都府南丹教育局)が主催となって、開催しているものです。今年度は、ガイドヘルパーさんや行政担当者を含め約80名の参加者がありました。

研修会では、講演やレクリエーション体験、音楽活動、防災器具の体験など、3つの講座が行われ、参加者は研鑽を積みました。



【研修Ⅰ】講演・レクリエーション活動

「いつまでも元気に-楽しく体を動かそう-」

講師:かめおか遊友ネットワーク 指導員 江見 君子 様

座ったままや少人数でできるレクリエーションを、多数紹介していただきました。「子どもの頃に帰ったように楽しかった」「地域に帰ってから、みんなに伝えたい」との感想がありました。



【研修Ⅱ】音楽活動 「心をこめて、楽しく歌声をひびかせよう」

講師:女声デュオ「BRILLANTE(ブリランテ)」様

歌う時のコツを教えていただきながら、誰もが知っている童謡やわらべ歌をみんなで歌ったり、本格的なソプラノの響きを鑑賞したりしました。「素敵な歌声を聴いて、心が洗われました。」「久しぶりにお腹から声を出せた。気持ちがよかった。」との感想がありました。



【研修Ⅲ】講演・防災器具体験

「火災及び災害時における日常の備えと人とのつながり-牽引力錯覚を利用した視覚障がい者用避難用コンパス-」

講師:元京都市消防局消防士 杉山 久 様

緊急時の心構えについての講演とともに、講師が企業と共同で開発した避難用コンパス(誘導装置)を体験しました。「こんな便利な機器があるとは知らなかった。早く実用化されればよいのに。」等の感想がありました。

